

特集2

女性特有の悩み・病気と仕事のあり方



「女性の社会進出」・「働くママ」という言葉もだいぶ定着してきました。

育児も家事もそして仕事もこなす女性は社会にとってとても期待されている存在です!!

その反面、女性の社会進出と女性特有の病気の推移が比例して増加傾向にあることはご存知でしたか?

今回は、仕事をしながら女性特有の悩みや病気の治療・手術を経験されている3名の方からお話をお聞きしました。



A子さん

約7年前に営業職で働きながら子宮頸がんの手術を経験



B子さん

介護職で働きながら大腸がんの手術を経験。現在は転職し、不妊治療中



C子さん

事務職で働きながら不妊治療。出産後、子宮頸がんが見つかり手術を経験

皆さんそれぞれ業種も年齢もバラバラですが、婦人科系の病気や不妊の悩みを抱え現在も治療中だったり、治療は終了しても年に何度かの検査などに通いながら仕事もしています。

病気を知った時の気持ちは?



A子さん

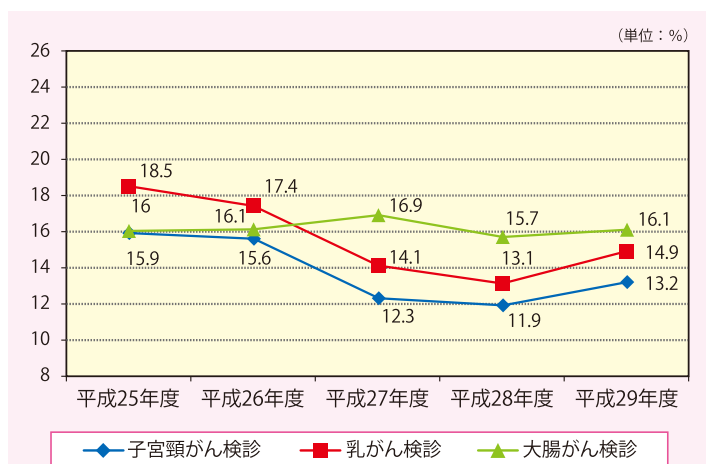
がん=死ぬというイメージだったので、「うわぁ・・・」と思いました。私になにかあったら息子をどうしたらいいのか・・・という思いがありました。

私が去年子宮頸がんを経験した時、娘がまだ幼かったのもっと早く検査しておけばよかった・・・とまず思いました。仕事と育児が忙しくて2年間頸がん検診をしていなかったことを後悔しましたね。



C子さん

いわき市のがん検診の受診状況 (女性に多いがんを抜粋)



※企業等の検診は除く

出典:健康いわき21(第二次)改定版



いわき市では、がん検診を受ける人が少ないですね。

特に子宮頸がん、乳がんの受診率が低いですね。



国では、がん検診の受診率の目標を50%としています。

今は2人に1人ががんになると言われている時代なので、もっとたくさんの人にがん検診を受けてもらいたいですね。

がん検診などについてのお問い合わせはこちらまで

いわき市 保健福祉部 健康づくり推進課 ☎ 0246-22-7448

不妊治療やがんの治療などで職場を休みづらくなかったか？



B子さん

大腸がんの時は介護職をしていました。病気のことを伝えると上司も他のスタッフもすごく親身になって考えてくれて「辛いと思うから、休んで治療に専念していいよ!」と体調面をすごく気にしてくれていました。

転職してから不妊治療を始めて、最初はタイミング療法からなので週2～3回病院へ行かなければいけない時もあるって、休みづらかったですね。上司の方にも「不妊治療」をやっていることは言えなかったんで、不妊とは関係ない理由を言って休んだり遅刻早退もしていました。きっと周りからは「怠け癖があるんだなあ」と思われていたと思います。



C子さん

私は不妊治療をやることを会社にお話ししました。不妊治療はどうしても治療期間が長くなったり、頻繁に通院しなければならないので嘘をついて休むときりが無いなと思って。それでも休みや遅刻早退の連絡をする時は気まずかったですね。

あとは、通院と子供の風邪などで休みが続いてしまう時もあるので、休みづらかったかな。

悩みや病気を抱えていても、女性が働きやすい社会とは？



C子さん

女性の社会進出と女性特有の病気って比例して増加しているんですよね。社会進出しているから忙しくてなかなか検診を受ける時間がなかったり、少子化と騒いでいる割には不妊治療を会社側や周りでもなかなか理解がなかったり、もう少し女性の負担が減るようにしてもらえると、仕事・育児・家事+**自分の健康**にも目を向けられる時間が増えるのでは・・・？

女性は会社の検診の中に婦人科検診を入れるのもいいですよ!
20才から子宮がん検診で40才からが乳がん検診ですよ?有料で。これを会社が負担してくれたりすると検診を受ける女性が増えるんじゃないかな・・・?



B子さん

周りの理解やサポートは必要ですね。あとは、若いうちから検診は受けてほしいですね!私が手術した時は、主人はもちろん両親や姉のサポートがあって本当に助かりました!!



A子さん

①子宮頸がん検診(20歳以上の女性の方)

年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	結果区分(人)		
				異常なし	要精検	要再検
29	41,065	5,411	13.2%	5,331	72	8

※受診者には、がん検診の総合支援事業を含む

③大腸がん検診(40歳以上男女)

年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	結果区分(人)	
				異常なし	要精検
29	109,310	17,546	16.1%	16,263	1,283

資料:健康づくり推進課

②乳がん検診(40歳以上の女性の方)

年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	結果区分(人)	
				異常なし	要精検
29	34,415	5,145	14.9%	4,870	275

※受診者には、がん検診の総合支援事業を含む

がん検診は、自覚症状がない段階でがんを早期発見・早期治療でき、医療費が抑えられ、仕事や家庭への負担も少なくて済みます。

まとめ(お話を聞いて)

実体験を踏まえてのお話だったので、とても参考になるところがたくさんありました。

特に不妊治療などは、治療が長引き頻繁に通院しなければならないので、仕事との両立の難しさや会社(上司)へ伝えづらい。女性も男性も仕事をしていて、休んだり遅退するのは同じだけの気まずさがあると思います。女性だから、男性だからではなく同じように子育ても仕事もできれば、もっと社会進出する女性は増えるのではないのでしょうか？

これを機に、一度家族や会社などでこれからの働き方を話してみるのもいいですね★

